

【ダム工学会 一般公開シンポジウム】 入場無料

With Dam★Night^{'11}

—ダムの底力—

ダム★それは人類の知恵と科学技術の結晶
ダム★それは驚きと発見のドラマ

そんなダムの魅力について、
多いに語り合う場があったら楽しいと思いませんか？

“with Dam★Night” は、市民やダムマニア、エンジニアなどの交流を通じ、
ダムの魅力を社会に伝えるダム工学会の事業です

ダムファンになって
魅力溢れるダムの世界へお出かけください



★ 堤高 155.5m !
近代土木技術史の原点「佐久間ダム」
(静岡県・愛知県：重力式コンクリートダム)

★ 第80年！土木遺産の「丸沼ダム」
(群馬県：バットレスダム)

copyright © TEPCO

★ 最新の設計論と施工技術で完成間近！「当別ダム」
(北海道：台形 CSG ダム)

★ 豪快な放水でダムの底力を体感できる「黒部ダム」
(富山県：アーチ式コンクリートダム)

とき

2011年10月31日(月) 受付 17:30 ~
開 幕 18:15

ところ

日本橋社会教育会館 ホール

東京都中央区日本橋人形町1丁目1番17号

(日本橋小学校等複合施設 8階)

TEL 03-3669-2102

入場無料・軽食等付(先着 150名)

お問合せ：ダム工学会 “with Dam★Night” 事務局【(財)ダム技術センター内】

E-mailアドレス: wdn@jsde.jp

TEL 03-5815-4161 (担当：福地・佐久間)

申し込み
お問合せ

申込方法：申し込みは事前登録制になります

ダム工学会HP (<http://www.jsde.jp/>) の申込フォームからお申し込み下さい

申込期間：9/1 ~ 10/20

With Dam★Night

- “with Dam★Night” は、シンポジウムを通じてダムの魅力を発見・発信する一夜だけのイベントです
- アフターファイブ、市民とダムファン、そしてダムプロフェッショナルが一同に会し、軽食を片手にダムの魅力とともに語り合う楽しいタベです
- 出演者は、ダムの第一線で活躍されているみなさまや、ダムファン最高峰の方々です
- 場所は文化の発祥地「日本橋」
ここより全国に向けてダムカルチャーを発信します！



日本橋社会教育会館

“どうで有馬の水天宮”
ご好評につき、今年も開催します！
仕事帰りにお誘いあわせの上お越し下さい

プログラム

「ダムの底力」

洪水で大切なものを流されないように頑張るダム、クリーンエネルギーや水を供給して安全・安心をお届けするダムの底力と魅力の全てをお伝えします

※敬称略

開会挨拶	18:10
1. 「水力発電の底力」 鈴木 篁 未来エネルギー研究会・代表	18:15
2. 「ダムをリメイクする」 吉田 等 (財)ダム技術センター 研究第一部長	18:50
3. 「『思い』のかげらを集めよう」 ダム日和 / takane / 休 憩	19:20 19:40
4. 「様々な障害を乗り越えて」 ふかちゃん: Dam's room 管理人 ダムマイスター No.22	19:50
5. 「水力の宝庫 ダム」 岡本 政明 ダム工学会副会長	20:10
6. 「“つつみ”と日本文明」 竹林 征三 富士常葉大学名誉教授	20:40
閉 会	21:15

会場案内図

最寄駅

地下鉄

- 人形町 徒歩 約 4 分
都営浅草線・東京メトロ 日比谷線
- 水天宮前 徒歩 約 5 分
東京メトロ 半蔵門線
- 茅場町 徒歩 約 8 分
東京メトロ 日比谷線・東京メトロ 東西線

都バス

- 水天宮前 徒歩 約 3 分

江戸バス(コミュニティバス)

- 人形町駅 徒歩 約 2 分



人形町なう（会場となる日本橋の魅力を、少しだけご紹介！）

【なんでも有馬の水天宮】

「日本橋」は江戸庶民文化発祥の地でした。中でも「人形町」は江戸・明治の風情を色濃く残す一角で、明治座から甘酒横丁を中心に和食・洋食・中華・甘味処など錚々たる新旧のお店が軒を競う食文化の街、もう、たまりません。この機会に「人形町グルメ」探索なんていうのも素敵ですね…

【情け有馬の水天宮】

「人形町」で忘れてならないのは、蛸殻町の水天宮！安産の神様として、戌の日には妊婦の行列ができ、本殿脇の犬の像は多くの人に撫でられてピッカピカに。もともとは筑後川下流の有馬藩のお社でしたが、江戸藩邸にも移され、安産の靈験あらたかとの評判に江戸庶民が賽銭を投げ込んだと云われます。この話を聞いた殿様が、門戸を開いて参詣者を受け入れ「情け有馬の水天宮」と呼ばれるようになりました。



安産祈願で賑わう「水天宮」